

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、
まちのわだい イベントなどの身近な情報をお待ちしています。
 ▷問い合わせ 広報情報係 (☎223-3569)



プールで練習できた喜びいっぱい

8月27日 芦屋ジュニア水泳クラブ

芦屋ジュニア水泳クラブの1年間の活動は、芦屋小学校のプールを使用できる7～8月の間だけです。今年は特に泳げる期間が短く、遠賀郡民体育大会に出場できなかったとのこと。それでもたくさん練習をして、泳げなかった1年生もビート板を使って泳げるようになりました。町内3小学校の児童たちのひと夏の頑張りをお水泳記録会に残し、次のステップへ挑戦を続けるそうです。



県内各地から元気な子どもたちが夢リアで共演

8月28日 夢リアキッズカーニバル&ミュージカル

文化・芸術分野で活動する子どもたちが、あしや夢リアホールに大集合し、歌やダンス、アクションなどを披露しました。文化庁の伝統文化親子教室に参加したことがきっかけで日本舞踊をはじめた山鹿小学校4年生の内田美羽さん(写真：だいだい色の着物を着ている人)は、「日本舞踊の振り付けを覚えて先生に見てもらいほめてもらえることが一番うれしいです。

本番では化粧をして、きれいな着物を着て普段と違う姿になるのでわくわくします」と話してくれました。



芦屋町区長会などに衛生品の寄贈

8月18日 続くコロナウイルス対策に

アンドデイズ ANDDAYS あしやを運営するモルトジェンティーレ(株)と(株)イトウから芦屋町区長会、町内福祉施設、芦屋町役場などに、段ボール約900箱分の手指消毒用のジェルと段ボール約400箱分のハンドソープが寄贈されました。モルトジェンティーレ(株)の代表高橋さんは、「お世話になっている町の皆さんの生活に役立ててほしい」と話していました。

また、芦屋町区長会から、町の中央公民館などの施設でも役立ててほしいとジェルとハンドソープが贈られました。



熱い^{すず}錫を流し込む緊張感！

8月21日 中央公民館講座 芦屋で鋳物を楽しもう！

鋳物文化に親しむワークショップが中央公民館で行われ、錫製の豆皿を作りました。講師は、「いつの日か鋳物同好会をつくりたい」と話す芦屋鋳物師の樋口陽介さんです。樋口さん特製の鋳型に、泥水で波模様を描き、2枚組み合わせ合わせて約250℃の溶けた錫を流し込みます。その後、冷やして固まったら、銀色に輝く豆皿ができます。「泥水で波の模様を描くのはむずかしかったけど、できた豆皿は味があっていいですね」と参加者は話していました。



抹茶を楽しみながら意見交換

8月18日 芦屋釜の里で福祉イベント

町内の高齢者やその家族、高齢者施設の利用者、施設職員などが、交流や意見交換を図る一環で、芦屋釜の里で呈茶を楽しみました。資料室で釜の文化に触れたあと、大茶室で庭園を眺めながら、夏のひとときを穏やかに過ごしました。家族同士で介護の話などしながらお茶を味わい、リフレッシュしました。「こんなきれいな庭園で過ごせてよかった」「こうやって家族も一緒に集まれるのは良いこと」と参加者は話していました。



「また来年ね」精霊流しで故人を思う

8月15日 芦屋橋のたもとで精霊流し

お盆の行事、精霊流しが3年ぶりに芦屋橋山鹿側のたもとで行われ、町内外から大勢の人が訪れました。訪れた人は先祖や亡くなった人に思いを馳せながら手を合わせ、精霊船や灯ろうを送り出していました。

